

令和7年度 部局経営目標

年度	令和7年度	作成日	令和7年4月1日
部局名	消防本部	部局長名	大美 勝
(1) 部局の方向性（テーマ）			
【No.11：住み続けられるまちづくりを】 1. 消防体制の整備 火災・救急をはじめとする各種災害に迅速かつ的確に対応できる体制づくりを進めます。 2. 防火・減災に対する普及啓発 市民が安心して暮らせるまちづくりを目的に、広報事業、防火指導の実施に努めます			
(2) 部局の重点施策			
① 地域みんなで子育てを応援する「こどもはぐくみ応援プロジェクト」 ③ 市民とともにつくる持続可能な地域づくり	(1) 幼少期からの防災教育に取り組みます。		
② 自分らしく暮らせる「共生の地域社会まにわ」の実現	(1) 関係機関（消防団）との連携強化、協働推進を図ります。		
③ 市民とともにつくる持続可能な地域づくり	(1) バイスタンダーの育成の取り組みを行います。		
(3) 事業成果目標		指標名及び目標値	
●人口減少抑制対策 救命講習の普及（再掲） ・救命率の向上を目指し、救命講習を開催することにより、一人でも多くの市民が応急手当を施せるよう普及推進を図ります。 ・救命にはバイスタンダーによる応急手当が必要不可欠であることから、目撃のある心原性心肺停止症例において一般市民等による心肺蘇生実施率が60%以上となるよう普及推進を図るため、M I T等のメディア媒体を活用するなど、適切な啓発を行います。 【参考 60%（真庭消防署管内令和6年実績）、59.7%（全国令和5年実績）】		指標:①救命講習の回数 ②受講者数 ③心肺蘇生実施率	
		目標値:①110回 ②2,800人③60%	
		（令和6年度実績値： ①107回 ②2,763人 ③60%	
1-① 消防力・防災力の強化 ・消防団と協力し合同消防訓練を実施することによって連携を強化し、消防力・防災力の強化に努めます。		指標:各方面隊との合同訓練	
		目標値:12回	
		（令和6年度実績値： 12回）	

1-② 救命講習の普及 ・救命率の向上を目指し、救命講習を開催することにより、一人でも多くの市民が応急手当を施せるよう普及推進を図ります。 ・救命にはバイスタンダーによる応急手当が必要不可欠であることから、目撃のある心原性心肺停止症例において一般市民等による心肺蘇生実施率が60%以上となるよう普及推進を図るため、M I T等のメディア媒体を活用するなど、適切な啓発を行います。 【参考 60%（真庭消防署管内令和6年実績）、59.7%（全国令和5年実績）】	指標:①救命講習の回数 ②受講者数 ③心肺蘇生実施率 目標値:①110回 ②2,800人③60% （令和6年度実績値： ①107回 ②2,763人 ③60%）
1-③ 市民が安心して暮らせるまちづくり ・災害に強いまちづくりを構築するため、地域住民に対し、関係団体と連携を取り、防災に関する訓練等を実施します。 ・市民にとって身近で信頼できる消防署という理解を得るため、市民との交流事業とSNSを活用した広報活動を実施します。	指標：①訓練会等の回数 ②受講者数 ③SNS投稿回数 目標:①25回 ②350人 ③50回 （令和6年度実績値： ①20回 ②330人 ③51回）
2-①防火・減災に対する普及啓発 ・火災件数の減少を目指し、広報事業・防火指導を積極的に行います。 ・幼少期からの防災教育は、自らの身の安全を確保できるだけでなく、将来の地域防災を担う人材育成にも効果的であることから、こども消防士育成プロジェクト（園児）及び子供防火管理者講習会（児童）を各こども園、小学校にて開催し、消防防災活動への知識と理解を育む取組を行います。	指標:①火災件数 ②広報事業開催数 ③防災教育実施回数 目標値:①29件未満・過去平均 ②3回 ③20回 （令和6年度実績値： ①31件 ②3回 ③18回）